

★ 野菜

温暖な気象条件を利用し、施設栽培では、いちご、なす、露地では、なす、そらまめ、レタス等が栽培されています。

また、久万高原町では、夏季冷涼な気象条件を利用し、雨よけトマトやピーマン等が栽培され、高原野菜の産地となっています。

●いちご

松山市、東温市、伊予市、松前町などで11ha 栽培されています。

主な品種は、「紅ほっぺ」、「あまおとめ」、「紅い雫」など、消費者ニーズに即した品種が導入され、地元はもとより京阪神へも出荷されています。

松山市や伊予市では、直販や観光農園もあります。

近年、高設栽培や天敵導入等により、省力化が進んでいます。



高設栽培いちご「紅い雫」

●なす

松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町などで34ha 栽培されています。

「筑陽」種は、施設と露地で、「庄屋大長」種は、露地で栽培され、それぞれ、「伊予なす」「松山長なす」の名称で親しまれています。

●そらまめ

松山市、伊予市、松前町などで22ha 栽培されています。

古くから管内の特産品となっています。

収穫時期は4月中旬から6月上旬で、主な品種は3粒莢割合の高い「陵西一寸」です。



そらまめL字栽培

●レタス

伊予市や松前町を中心に50ha 栽培されています。

収穫時期は10月から翌年の5月で、栽培時の気象条件にあわせて品種を変えるとともに、食感重視の適期収穫に努めています。冬季にはトンネル栽培が行われています。



レタスべたがけ栽培（右）

●トマト

久万高原町、旧中山町、旧広田村で夏秋雨よけトマトが40ha 栽培されています。主な品種は高糖度で食味の良い「桃太郎（セレクト、サニー、8、他）」です。

何れの産地とともに、農協共販部会全体でエコえひめ認証並びにエコファーマーの認定を受けており、安全・安心な環境に配慮した栽培に取り組んでいます。



久万高原町のトマト栽培

●ピーマン

久万高原町を中心に18ha 栽培されています。主な品種は肉厚のある「京波」です。農協共販部会全体でエコファーマーの認定を受け、環境に配慮した栽培に取り組んでいます。



久万高原ピーマン

※栽培面積は県農産園芸課調べ（平成28年産野菜類の生産販売状況に関する調査）